



図5.9 ラムダファージにおけるCIとCroの関係

取りうる発現量を0/1で表現すると、CIあるいはCroのみという状態で安定になる。両方とも全く発現しない場合も安定だが、遺伝子発現がすべて完全に0という状態は考慮しない。